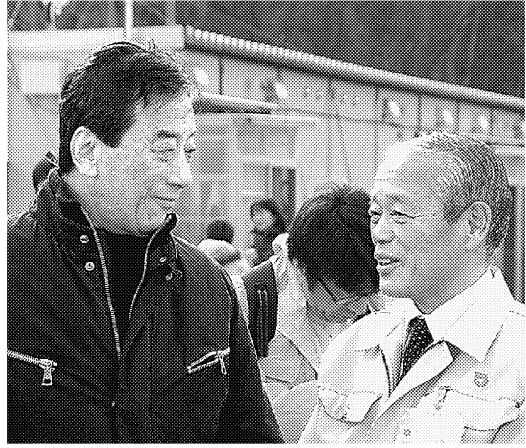


人間
発見



若者のボランティアなども積極的に支援している（福島県川俣町長⑥と）

たために、教職免許を取ったばかりの学生を「フェロー（教師）」として派遣する活動をしています。とてもつもない目標ですが、何事も始める勇気と行動、それを社会が応援することが大事なのです。

08年12月、早稲田大学休学してバングラデシュに渡り、ノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行創始者のムhammad・ユヌス博士に飛び込みで説明したら、「DO IT! DO IT! GO AHEAD!」と言われ、一気に実現に向けて動き出しました。現地の目標をを目指すのです。

その中の一人、税所篤快君は自分が、自分はルワンダ、パレスチナ・ガザ地区などで同様のプログラムを始めています。恵まれない若者に教育の機会をという彼の夢が世界に広がっているのです。彼は来月から早大「7年」生です。

09年に「TEDxTokyo」、11年に「IMPACT JAPAN」と国内外の若者が中心になって運営するアイデアやイノベーション支援組織の立ち上げにかかわった。

ブログ立ち上げ、学生らと活発に交流

途上国支援の思い、ハッパかけ実現後押し

「若者、内向きではない」挑戦を応援

2002年にブログを立ち上げる。毎年参加している世界経済フォーラム・ダボス会議報告など読み応えがある内容が満載で、中でも若者との活発な交流ぶりが目を引く。

08年10月のブログで、米国では国内の教育困難地域に一流大学の卒業生を派遣する「ティーチ・フォア・アメリカ」といった非営利団体が、大学生が卒業後最初につきたい仕事トップ10に入っているという話を書きました。すると10年夏、松田悠介君という若者が懸命に「ティーチ・フォア・ジャパン」をつくろうとしているのをツイッターで見つけました。これは応援しなければとすぐに松田君に連絡を取り、話を聞きました。

彼は小さいころにいじめられていました。中高で体を鍛えて大学で学んで早大教育学部に合格。そ

では教育学部を卒業、都内の中高校で体育教師になりましたが2年で辞め、米ハーバード大学の教育大学院に行きます。「ティーチ・フォア・アメリカ」を立ち上げたウエンディ・コップさんのセミナーがあり、瞬間に「これだ！」と直感したそうです。

今、松田君は就学援助対象の国

大学などの学生6人が「バングラデシュに行ってきました。農村の劣悪な教育環境を何とかしたい」と言つて訪ねてきました。先生や友人に相談しても反応がないと嘆くので、人を頼らず、大学を休学して君たちだけで思ったようにやれませんでした。税所君からの最初のメール「1人合格しました！」

は、本当にうれしかった。その後何人かが他の一流大学に合格しました。彼は高校時代、落ちこぼれで、担任に「三浪して三流大学に行け」と言われて奮闘し、予備校のDVD授業の3年分を3ヶ月

次回は漫談家の綾小路きみまろさん

「出る杭」が日本を変える

⑤

の体験が生きたそうです。税所君はバングラデシュの運営都ダッカの一級講師による授業を映像に収め、村の高校生に学ばせる仕組みを考えました。これで村では絶対に無理だといわれている同国最高峰のダッカ大学合格を目指すのです。

大学休学してバングラデシュに渡り、ノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行創始者のムhammad・ユヌス博士に飛び込みで説明したら、「DO IT! DO IT! GO AHEAD!」と言われ、一気に実現に向けて動き出しました。現地の目標を

達成するためには、税所君はバングラデシュの運営をダッカ大生のパートナーにまかせ、自分はルワンダ、パレスチナ・ガザ地区などで同様のプログラムを始めています。恵まれない若者に教育の機会をという彼の夢が世界に広がっているのです。彼は来月から早大「7年」生です。

09年に「TEDxTokyo」、11年に「IMPACT JAPAN」と国内外の若者が中心になって運営するアイデアやイノベーション支援組織の立ち上げにかかわった。

その中の一人、税所篤快君は首

の体験が生きたそうです。